

試練乗り越える製品提供

日本工作機械工業会副会長 中村 健一
(中村留精密工業社長)



世界経済も極めて厳しい状況にあり、日本の製造業も六重苦という大きな荷を背負つてあります。しかし、このような中で日本の工作機械業界の受注は高い水準を維持しております。これは技術力の高さゆえの誇りです。しかしながら、このように向けて技術を磨き、切磋琢磨しながら今日の隆盛が生まれました。

日本は、JIMTOFにおいて、より進化した製品が展出されております。

日本工作機械工業会副会長 中村 健一
(中村留精密工業社長)

将来担う若者の訴求の場

日本工作機械工業会副会長 山岡 靖幸
(神崎高級工機製作所社長)



第26回日本国際工作機械見本市(「JIMTOF 2012」)の開催にあつて一言ご挨拶申し上げます。1962年の第1回以来、今回が50周年の節目の年を迎えるわけですが、これもひとえに工作機械ユーザー各位のご支援と工作機械産業に携わるご先人の努力の賜と感謝申し上げる次第です。

日本は、JIMTOF 各社は、JIMTOF に向けた技術を磨き、切れ味の鋭さと高精度・省エネ・システム化など国内ユーザーの要求水準は大変

我々は常に高速・高精度加工や重切削、難削材への対応という二つのテーマを中心として、賃金コストの高い日本でのモノづくりがこれまでにも試験を乗り越えておりました。多くの方々にJIMTOF 2012 において、より進化した製品が展出されております。

日本工作機械工業会副会長 山岡 靖幸
(神崎高級工機製作所社長)

日本独自のテーマを提案

日本工作機械工業会副会長 森 雅彦
(森精機製作所社長)



欧州の金融不安や中国の経済成長鈍化、歴史的円高の長期化など、我が国の工作機械業界を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。しかし、先達の切磋琢磨による改善、改良により、わが国の工作機械の開発力・製造力・サービス力・アブリケーション力は、他国に比べて成長していただけます。このセミナーを通して、これからの方々に日本の未来を知つてもらい、そして、関心を持っていただき、また立派な技術者とて成長していただけます。

日本工作機械工業会副会長 森 雅彦
(森精機製作所社長)

成果出し合い展望広げる

日本工作機械工業会副会長 牧野 二郎
(牧野フライス製作所社長)



この優位性を保つてあります。このうち、世界四

つおり、世界トップレベルの工作機械を知つていただき、来場をいただき、明

にぜひとも足をお運びい

ただき、未来の戦略・ビジョンを思い描く機会に

されることは願いました。ご挨拶させていただきます。

日本工作機械工業会副会長 牧野 二郎
(牧野フライス製作所社長)

苦境の時こそ大きな期待

日本工作機械工業会副会長 稲葉 善治
(ファンアック社長)



現状、ギリシャの財政破綻に端を発した欧州債券危機や、中国における空港産業・エネルギー需要の旺盛な需要に支えにより、これらの市場で冷え込んでいます。また、日本国内においては、復興投資は依然として低迷しています。

そこで、工作機械業界において厳しい状況が続くこと、業界を取り巻く経済環境は流動的であり、かつ、競争の潮流を実感していただけることを祈して

おります。

期間中会場では講演会や技術セミナー、学生向けの就活セミナー、会社説明会、一般社会への工作機械の認知度を高めるとともに、業界の将来を担う若者への訴求の場となることを期待しております。

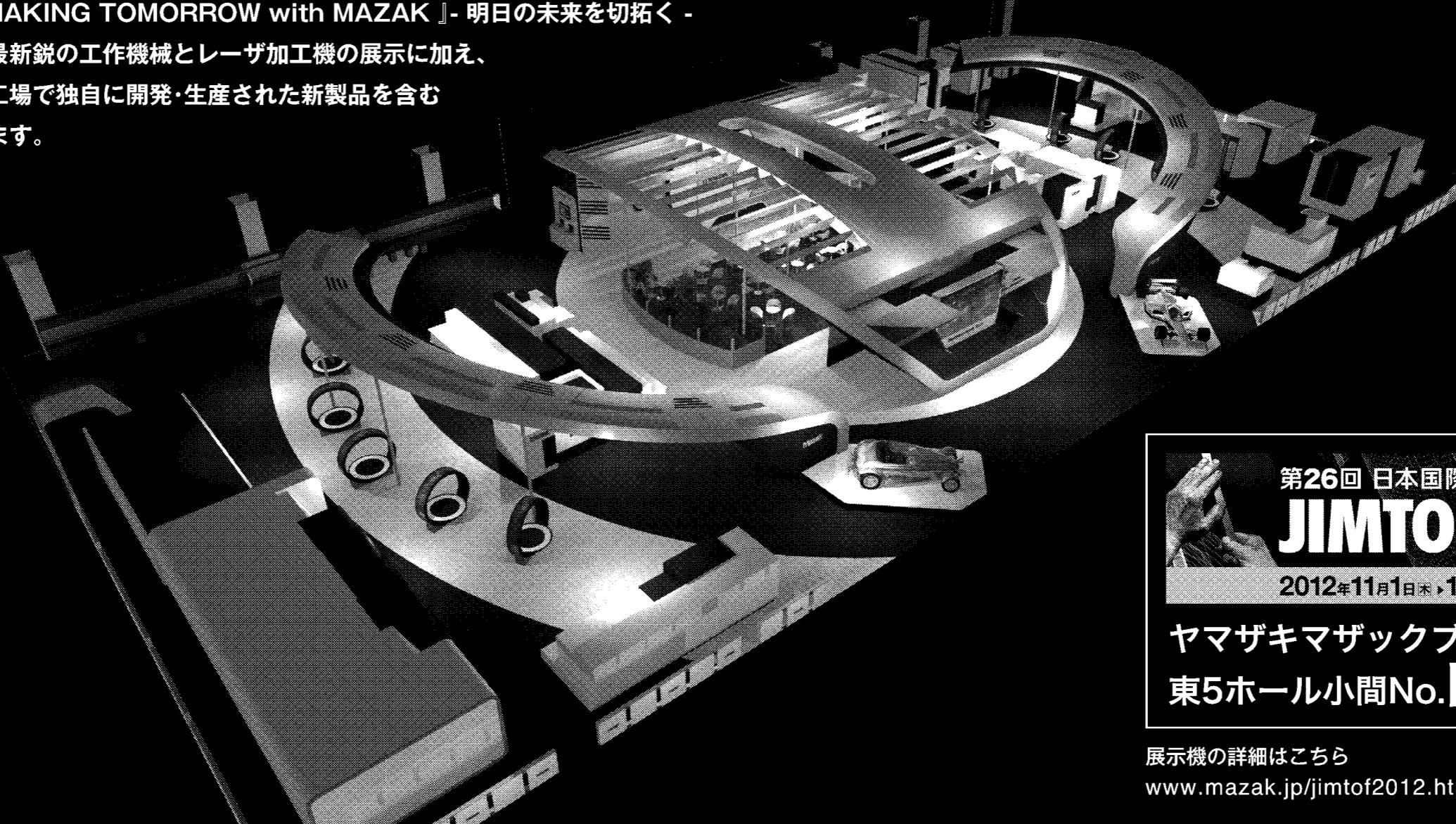
日本工作機械工業会副会長 稲葉 善治
(ファンアック社長)

匠の技と先端技術の融合

「あいさつ

MAKING TOMORROW with Mazak 明日の未来を切拓く

ヤマザキマザックは、「MAKING TOMORROW with MAZAK」- 明日の未来を切拓く - をメインテーマとして、最新鋭の工作機械とレーザ加工機の展示に加え、米国工場、シンガポール工場で独自に開発・生産された新製品を含む計22台の展示を行ないます。



第26回 日本国際工作機械見本市
JIMTOF 2012
2012年11月1日㈭・11月6日㈫ 東京ビッグサイト

ヤマザキマザックブース
東5ホール小間No.E5001

展示機の詳細はこちら
www.mazak.jp/jimtof2012.html